

校長室だより No 3

運動会アンケートから参加参画型へ

2024年 6月10日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

5月のキーワードは「合わせる」として、運動会を通して、動き・気持ち・時間を合わせながら、新しい学年や学級の中で一体感を味わって感を味わえるよう取り組んで参りました。6月のキーワードは「力を合わせる」として、学習中に「わからない！できない！」を言おう！、友だちが「わからない！できない！」という時は、力を合わせて、わかるように・できるように、していきましょう。と話しました。ただし、わからない、できない、とただ言うのではなく、どこがわからないか、どこまでわかるけど、どこからわからないか、をきちんと説明をする。ということも、正しいヘルプ信号の出し方として、各担任に伝えて取組を行っています。6月は1学期で大事な時間になります。よろしくお願いします。

さて、5月25日に実施した運動会のアンケート調査にご協力をいただきありがとうございました。238件の回答をいただきました。自由記述については、HPの「校長室からの発信」から閲覧できますので、お読みください。

先生たちも、昨年度の反省にたつて種目等の見直しを行い、表現種目が全くなかったことに対する評価に対して、少しでも表現の要素を取り入れる工夫をしてきました。このことを認めてくださる保護者の方も多く、来年に向けた橋がけとなったことだと思います。

保護者の皆様に記していただいた内容につきましては、来年度の計画に反映できるものは積極的に反映していきたいと考えています。また、〇〇をして欲しいというものも多くあり、検討課題のもの散見されます。中には、「こんな方法があります」「このようにやってみてはどうだろう」という、提案型の記述があり、このように具体的に記載していただくと、新たな視点を持てたり、具現化に向けての足がかりになったり、します。このような参画型の提案はどんどん出していただくと、学校としても取り入れ易くなります。一方で、カメラゾーン、立見ゾーン、自転車置き場などで、あらかじめ保護者の皆さんに伝えてある約束事を守っていないというご指摘も多くいただいています。ルールを守れない保護者の方に対して、PTAや教員が労力を割くのは、本末転倒と言わざるを得ません。しっかりと大人対応ができる保護者集団になって欲しいと願います。

最後に、既にお送りしている「ミニ集会」への参加お願いです。日本中の学校の理念として「社会に開かれたカリキュラム」が求められています。その第一歩の行事です。是非、申し込みいただき、富勢小学校と一緒に創っていきましょう！ よろしく願います。